

在セネガル日本国大使館月報

2023年1月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 3日、バ首相は、新型コロナ対応政府基金「Force COVID19」が不正使用されたとして会計検査院により指摘を受けた問題について、市民団体との協議会を開催し状況を説明した。(4日 Le Soleil)

(外政)

- 20日、セネガルを訪問中のイエレン米財務長官はサル大統領、サール経済大臣、バ財務大臣と会談した。同長官は、米アフリカ経済関係に関する演説を行った。(21、22日 Le Soleil)
- 25日、セネガルとアフリカ開発銀行の共催で、食料主権をテーマとするダカール・サミット2が開催され、アフリカの首脳らが参加した。開会式においてサル大統領は、食料生産の問題に各国共同で解決する必要性を述べた。(25日 大統領府 Twitter)
- 31日、サル大統領は、パリにてマクロン仏大統領と会談を行い、AUのG20加盟、最近の地政学的状況、経済危機とアフリカの食料安全保障等について協議した。(2月2日 Le Soleil)

(日本関係)

- 4日、駐セネガル日本大使公邸において、令和4年度秋の外国人叙勲の対象者であるガブリエル・アレクサンドル・サール元セネガル駐日大使への旭日重光章の叙勲式が開催された。(5日 Le Soleil)

ガーボベルデ

- 16日、日本政府はカーボベルデに対し約1,500トン(約180万ユーロ相当)の米を供与した。米の引渡式には広瀬在カーボベルデ日本国大使館参事官とシルバ農業・環境大臣が出席した。(16日 Expresso das Ilhas)

ガンビア

- 18日、バロウ大統領は、自身の Twitter にてジュフ副大統領が逝去したことを公表した。(18日 大統領 Twitter)

ギニアビサウ

- 11日、ECOWAS議長を務めるエンバロ大統領は、ブルキナファソの民政移管プロセスを確認するためワガドゥグを訪問し、トラオレ暫定大統領と首脳会談を行った。(12日 Africa news)
- 26日、パリを訪問中のエンバロ大統領は、マクロン大統領と会談し、両国間協力、ECOWAS域内の政治・軍事状況につき協議した。(27日 LUSA)

- ・文中の「コロナ」とは特別な記載がない限り、「新型コロナウイルス」のことを指すこととする。
- ・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:タル外務・在外自国民大臣→タル外務大臣など)

セネガル

(内政)

内政一般

- 3日、バ首相は、新型コロナ対応政府基金「Force COVID19」が不正使用されたとして会計検査院により指摘を受けた問題について、市民団体との協議会を開催し状況を説明した。(4日 Le Soleil)
- 内務省は2022年の犯罪対策に関する総括を行い、同省次官は、同年に32,886件の犯罪、27,875件の逮捕(うち外国人は59件)、9,050件の起訴が記録されたことを公表した。(6日 Le Soleil)
- 4日、政府は閣議を開催し、サル大統領はバ首相に対し、若年層の雇用問題、新規起業等の問題を最重要課題として取り上げつつ、2023年の政府行動計画を策定するよう指示を出した。(4日 APS)
- 17日、バ財務大臣は2023年度の予算執行開始説明会を開催し、昨年度の予算が適切に執行されたことを報告し、今年度予定されている事業に取り組んでいくことを表明した。(18日 L'Observateur)

(外政)

二国間・多国間関係

- 6日、サル大統領は外交団向け新年賀詞交換会を開催した。(9日 Le Soleil)
- 9日よりタル外務大臣はスペインを公式訪問し、包括・社会保障・移住担当大臣と会談した他、在スペインセネガル人コミュニティと面会した。また、15日に内務大臣、16日も外務大臣と会談した。(タル外務大臣 Twitter)
- 12日夜、アザリ・コモロ大統領がダカールに到着し、13日サル大統領とダカール市内のモスクにて礼拝を行った。(13日 大統領府 Twitter)
- フランス日刊紙 Le Point は、セネガルを訪問中のマリーヌ・ルペン国民連合党首が、18日サル大統領と約1時間にわたり会談したと公表した。同会談は秘密裏に行われたとされており、セネガルメディアへの情報及び大統領府からの公式発表は確認されていない。(21日 Walf Quotidien)
- 20日、セネガルを訪問中のイエレン米財務長官はサル大統領、サール経済大臣、バ財務大臣と会談した。同長官は、米アフリカ経済関係に関する演説を行った。(21、22日 Le Soleil)
- 20日、サル大統領はアデシナ・アフリカ開発銀行総裁と面会し、25-27日にダカールで開催される第二回アフリカ食糧サミットについて協議した。(20日 大統領 Twitter)
- 23日、サル大統領は、アル・シシ・エジプト大統領と会談を行い、二国間・アフリカ・国際関係について協議した。(23日 大統領 Twitter)
- 24日、サル大統領は、ヒギンズ・アイルランド大統領を迎え、食料安全保障、気候変動のインパクト、女性及び若年者の自立強化について協議した。(24日 大統領府 Twitter)
- 24日、サル大統領は、ミッチェル英アフリカ・協力担当大臣と会談し、セネガル・英国関係について協議した。また、大統領は英国による AU の G20加盟支持に対し謝意を表明した。(24日 大統領 Twitter)
- 24日、サル大統領は、ジェームズ・リッシュ米上院議員と電話会談を行い、米・アフリカ・パートナーシップ関係につき協議した。(24日 大統領 Twitter)
- 24日、タル外務大臣は、ケベック国際関係・仏語圏大臣と面会し、両者の協力関係の歴史及びパートナーシップ関係について意見交換した。(24日 外務省 Twitter)
- 25日、セネガルとアフリカ開発銀行の共催で、食料主権をテーマとするダカール・サミット2が開催され、

アフリカの首脳らが参加した。開会式においてサル大統領は、食料生産の問題に各国共同で解決する必要性を述べた。(25日 大統領府 Twitter)

- 26日、サル大統領は、ンダイシミア・ブルンジ大統領、ルト・ケニア大統領及びムナンガグワ・ジンバブエ大統領と会談を行い、アフリカの平和と貧困問題について協議した。(26日 サル大統領 Twitter)
- 31日、サル大統領は、パリにてマクロン仏大統領と会談を行い、AUのG20加盟、最近の地政学的状況、経済危機とアフリカの食料安全保障等について協議した。(2月2日 Le Soleil)

国際情勢・国連機関支援等

- UNESCOのアズレ事務局長はセネガルを訪問し、ンジャイ・セネガルオリンピック委員会会長と2026年ダカールユースオリンピックについて意見交換を行った。(21日 Sud Quotidien)
- 30日、サル経済大臣とイスラム開発銀行を構成するイスラム国際通商融資協会は、農業、エネルギー、中小企業支援、貿易促進に関する事業に対する2,620億FCFA(約524億円)の融資に係る合意書に署名した。(31日 Le Soleil)

日本関連

- 4日、駐セネガル日本大使公邸において、令和4年度秋の外国人叙勲の対象者であるガブリエル・アレクサンドル・サル元セネガル駐日大使への旭日重光章の叙勲式が開催された。(5日 Le Soleil)
- 23日、在セネガル日本国大使館と経済・計画・協力省は、第3回日セネガル投資促進経済委員会会合を開催し、同国のビジネス環境の改善や、投資先としてのセネガルの魅力等について議論を行った。(24日 Le Soleil)

(経済)

経済一般

- 12日、セネガル政府は、今年の石油・ガスの採掘開始に向け、サン・ルイの若年漁業者60名に対し同分野での雇用を確保すべく研修を開始した。(12日 APS)
- 国家人口動態・統計局は、昨年11月の輸入額及び製造業の生産高が、前年同期比でそれぞれ5.4%、0.2%増加したことを公表した。製造業の産業別増加率は、環境関連産業42.3%、手工業10.1%、電気・ガス・水道4.5%。(17日 APS)
- バルデ・セネガル投資・大規模工事促進公社(APIX)総裁は、同公社が今後、ジャムナジョからダカール国際空港まで郊外高速鉄道(TER)の延伸事業に専念することを発表した。(18日 APS)
- 18日、チャム水・衛生大臣とモロッコのバラカ設備・水大臣は、水の利用、帯水層の保護に係る協力関係の強化を目指すべく覚書に署名した。(23日 Le Soleil)
- バ財務大臣は、2022年の関税収入が1兆3,000億FCFA(約2,600億円)(対前年比で9%増)に上ったことを公表した。この増収は、人材育成、データ処理技術の導入により可能となったと説明した。(27日 Le Soleil)

(社会)

- 8日未明、ニビ(カフリン県、ダカールの南東約250km)で、大型バス2台が衝突し、死者40名、負傷者85名(うち36名重傷)を出す事故が発生した。それを受け、サル大統領は、9日から3日間国民が喪に服することを発表した。(9日 Le Soleil)
- 11日、閣議においてサル大統領は、大型バスの衝突事故を受け、遅滞なく交通安全対策を講じるよう首相及び関係閣僚に指示を出した。(12日 Le Soleil)

- 15日夜から16日、ルーガ県サカル区ンベンゲール村付近でバスとトラックが衝突し、死者19名、負傷者24名を出す事故が発生した。それを受け、サル大統領は交通安全対策を強化する旨の声明を出した。(16日 APS)

(文化・スポーツ)

- 3日、セネガル人歌手ユッス・ンドゥールは、米音楽雑誌ローリング・ストーンが1日発表した「歴史上最も偉大な歌手200人」に選出された。(3日 APS)
- セネガル空手連盟は、20日から開催されるパリ空手オープンに6名のセネガル人空手家が出場することを公表した。(20日 APS)

カーボベルデ

- 8日、ネーヴェシュ大統領は、同行為を強く非難し、ブラジルで発生した反民主的暴動事件を受け、ルー・ブラジル大統領への連帯を示す声明を発出した。(9日 Expresso das Ilhas)
- 10日、コレイア・エ・シルヴァ首相は、ポルトガルの支援により軍の能力・設備強化に着手することを公表した。(10日 Asemana)
- ガルシア・コレイア副首相は、ルクセンブルクの協力の下、2023年に3,500名の若年者に対し職業訓練を実施することを公表した。(10日 Opais)
- ネーヴェシュ大統領は、外交団新年賀詞交換会において、コロナとエネルギー危機により同国経済が打撃を受けたことを理由に、債務の軽減を国際社会に訴えかけた。(11日 LUSA)
- 16日、日本政府はカーボベルデに対し約1,500トン(約180万ユーロ相当)の米を供与した。米の引渡式には広瀬在カーボベルデ日本国大使館参事官とシルバ農業・環境大臣が出席した。(16日 Expresso das Ilhas)
- 16日、広瀬在カーボベルデ日本国大使館参事官は、プライア市と令和3年度対カーボベルデ草の根・人間の安全保障無償資金協力「プライア市救急車整備計画」に係る署名式に出席した。(16日 Asemana)
- 17日、広瀬在ガンビア日本国大使館参事官は、令和2年度対カーボベルデ草の根・人間の安全保障無償資金協力「プライア市視覚障害者のための点字機材整備計画」の引渡式に出席した。(18日 Asemana)
- アフロバロメーターによるカーボベルデ人の自国に対する腐敗認識指数2022年版は、前年より上昇した。自国の機関に腐敗があると認識しているものの、機関自体は信頼しているという結果が出た。(19日 Asemana)
- 国立統計研究所は、2022年の物価上昇率が7.6%であり、2023年も上昇傾向が続いており、賃金の上昇がそれに追いついていない事実を公表した。(23日 Expresso das Ilhas)
- 民間航空局による2022年の空港到着者に関する統計により、210万人を超える搭乗者が国内・国際空港を利用したことが明らかとなった。対前年比で162%。(23日 LUSA)

ガンビア

- 3日、ガンビア政府は、12月に起きたクーデタ未遂事件に関与したとして2名の市民と1名の警察官を容疑者認定した。(4日 SENEWEB)

- 4日、ガンビア政府と EU は、民主化支援、治安維持セクター改革、技術支援の分野で1, 800万ユーロの資金供与合意書に署名した。(13日 The Point)
- 5日、ガンビア政府は、中国から1, 996トンの援助米を受け取った。全土の社会的弱者、災害の被災者等に配布される予定である。(6日 The Point)
- 12日、新任のバ駐米ガンビア大使は、バイデン大統領に信任状を奉呈した。同大使は、USAID やピースコー等を通じた支援に謝意を表明し、人権・人間の尊厳・法の支配等の共通の価値に基づき両国間関係をさらに強化したい旨発言した。(12日 The Point)
- ガンビア内務省とフランスの専門機関は、非合法製品の海上流出入を防ぐことを目的に、港湾管理能力の強化を図る事業の覚え書きに署名した。(16日 The Point)
- 18日、バロウ大統領は、自身の Twitter にてジュフ副大統領が逝去したことを公表した。(18日 大統領 Twitter)
- 29日、バロウ大統領は、大統領府にイスラム開発銀行総裁を迎え、同銀行の支援により実施されている社会インフラや治安強化に関する事業について協議した。(30日 The Point)
- ガンビア統計局は、今年4月に実施されるデジタル人口動態調査の準備が整ったとし、国民、地方自治体長、宗教指導者らに対して同調査に協力するよう呼びかけた。(31日 The Point)

ギニアビサウ

- 9日、ゴメシュ地方行政大臣は、6月4日に予定されている議会選挙にかかる費用の70%を政府が支出し、残る30%は国際社会に支援を仰ぐことを公表した。(9日 O Democrata)
- 9日、エンバロ大統領はブラジルで発生した暴動を受け、暴力行為を非難するとともに、民主主義の価値と象徴的機関(大統領府、国会議事堂、最高裁判所)を尊重するよう声明を発出した。(10日 rado bantaba)
- 11日、選挙技術支援局のバルデ局長は、6月4日に実施される議会選挙について、投票権保有者のうち65.6%の選挙人登録が完了したと発表した。(11日 O Democrata)
- 11日、ECOWAS議長を務めるエンバロ大統領は、ブルキナファソの民政移管プロセスを確認するためワガドゥグを訪問し、トラオレ暫定大統領と首脳会談を行った。(12日 Africa news)
- 26日、パリを訪問中のエンバロ大統領は、マクロン大統領と会談し、両国間協力、ECOWAS域内の政治・軍事状況につき協議した。(27日 LUSA)
- 27日、外務省は、ポルトガル外務省との間で、ポルトガル学校の建設事業に係る合意書に署名した。建設事業は6, 000万ユーロに達する。(27日 O Democrata)
- 30日、IMF理事会は、ギニアビサウ向け拡大信用ファシリティの枠組み3, 840万ドルの資金を36か月間貸し付けることを決定した。(31日 O Democrata)
- 31日、マンジャWFPギニアビサウ常駐代表は、ギニアビサウと2027年までの戦略計画強化合意書に署名した。その際、同代表は2023年に同国で食料安全が脅かされる危険性を指摘した。(2月1日 O Democrata)

(注) 本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。 (了)